

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(令和6年4月解析分)

資料提供
令和6年4月30日
課名 健康危機管理課
(感染症・疾病管理センター)
担当者 片平
電話(直通) 082-513-3068
(内線) 3068

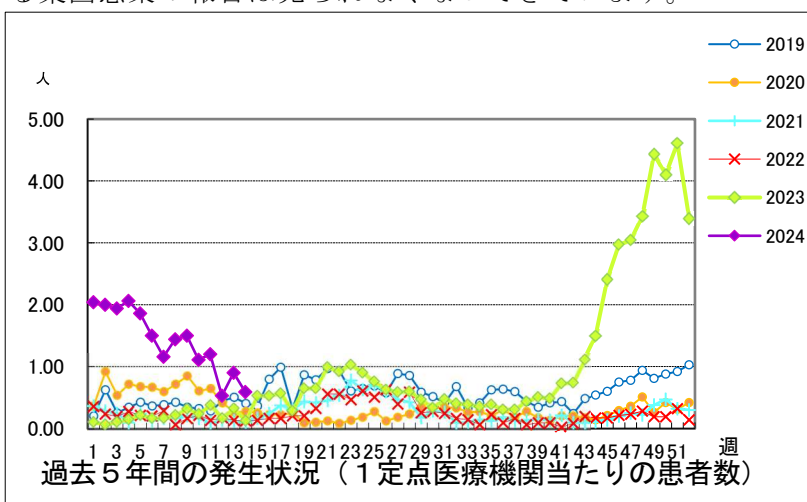
1 今月のトピックス

これからの時期、特に注意すべき感染症があります。いずれも、手洗いの励行が基本です。

(1) 咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎、眼症状を主とする小児の急性ウイルス性感染症で、プールでの感染も多くみられることから「プール熱」とも呼ばれることもありますが、近年ではタオルの共用が減った等の理由からプール利用における集団感染の報告は見られなくなってきています。

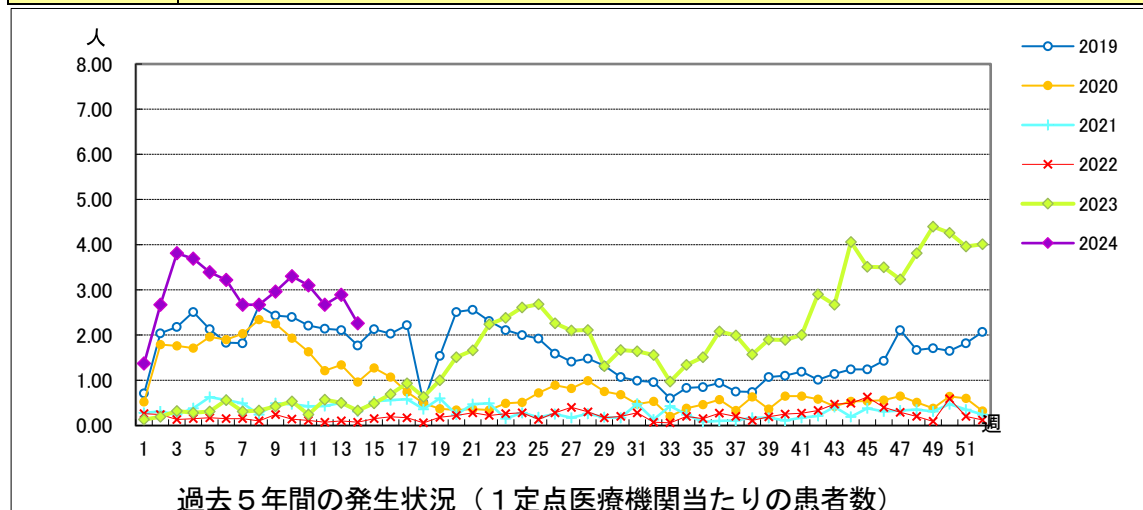
病原体	アデノウイルス
症状	発熱で発症し、頭痛、食欲不振、全身倦怠感とともに、咽頭炎による咽頭痛、結膜炎に伴う結膜充血、眼痛等を訴え、3～5日間程持続します。 眼症状は、一般的に片方から始まり、その後、片方にも出現します。潜伏期は5～7日とされています。
感染経路	飛沫感染、接触感染
予防方法	・手洗いとうがいの励行が基本となります。 ・プールや温泉施設を利用する際は、前後にシャワーを必ず浴び、タオルの共用は避けましょう。



(2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、咽頭や扁桃などの上気道が炎症を起こす感染症です。学童期の小児を中心に、冬季及び春から初夏にかけて流行が見られ、これからの時期、流行には注意が必要です。

病原体	A群溶血性レンサ球菌
症状	感染から2～5日の潜伏期間の後に、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、莓舌と呼ばれる特徴的な症状もあります。 まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「猩紅熱(しょうこうねつ)」に移行することがあります。
感染経路	接触感染
予防方法	・手洗いの励行が基本となり、アルコールによる手指消毒も有効になります。 ・有効なワクチンはありません。



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和6年3月分(令和6年3月4日～令和6年3月31日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	6,309	13.96	2.77	↘	11	ヘルパンギーナ	4	0.01	0.03	
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	1,958	4.33		↓	12	流行性耳下腺炎	3	0.01	0.07	
3	RSウイルス感染症	132	0.47	0.25	↑	13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
4	咽頭結膜熱	262	0.94	0.29	↘	14	流行性角結膜炎	41	0.54	0.35	↘
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	837	2.99	0.93	→	15	細菌性髄膜炎	3	0.04	0.00	
6	感染性胃腸炎	1,807	6.45	4.64	↘	16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.00	
7	水痘	23	0.08	0.13	→	17	マイコプラズマ肺炎	3	0.04	0.05	
8	手足口病	76	0.27	0.07	↘	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	2	0.01	0.09		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.01	0.25	
10	突発性発しん	60	0.21	0.28	↗	※1 第19週(5/8～)から五類に変更。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和6年3月分(3月1日～3月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	62	2.70	3.27	→	24	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	64	3.05	3.08	↘
21	性器ヘルペスウイルス感染症	23	1.00	0.94	→	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1	0.05	0.11	
22	尖圭コンジローマ	9	0.39	0.70	↘	26	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.03	
23	淋菌感染症	20	0.87	1.16	↗	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 RSウイルス感染症 (0.20 → 0.47)

○急減疾患 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) (9.53 → 4.33)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患, 月報対象7疾患)について, 県内177の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～26	
定点数	43	70	19	23	21	176

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	26	結核(26)[西部保健所(2)、西部東保健所(5)、東部保健所(3)、広島市保健所(7)、呉市保健所(4)、福山市保健所(5)]
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)[広島市保健所(2)]
四類	5	A型肝炎(1)[広島市保健所(1)]
		E型肝炎(1)[呉市保健所(1)]
		デング熱(1)[北部保健所(1)]
		レジオネラ症(2)[西部保健所(1)、広島市保健所(1)]
五類	52	ウイルス性肝炎(1)[広島市保健所(1)]
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(4)[東部保健所(1)、広島市保健所(1)、呉市保健所(2)]
		ジアルジア症(2)[東部保健所(1)、広島市保健所(1)]
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症(2)[広島市保健所(1)、呉市保健所(1)]
		急性脳炎(2)[広島市保健所(1)、呉市保健所(1)]
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症(4)[西部保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(1)]
		侵襲性髄膜炎菌感染症(1)[北部保健所(1)]
		侵襲性肺炎球菌感染症(4)[広島市保健所(2)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)]
		水痘(入院例)(1)[西部保健所(1)]
		梅毒(29)[西部保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(20)、呉市保健所(3)、福山市保健所(4)]
百日咳(2)[西部保健所(1)、広島市保健所(1)]		

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2024年3月31日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
二類	結核	19	37	26										82
	小 計	19	37	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2	5	2										9
	小 計	2	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
四類	E型肝炎	1	0	1										2
	A型肝炎	0	0	1										1
	エムポックス	0	0	0										0
	つつが虫病	0	0	0										0
	デング熱	0	0	1										1
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0										0
	日本紅斑熱	0	0	0										0
	日本脳炎	0	0	0										0
	マラリア	0	0	0										0
	レジオネラ症	4	3	2										9
	レプトスピラ症	0	0	0										0
	小 計	5	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
五類全数	アメーバ赤痢	0	0	0										0
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く。)	0	0	1										1
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	2	4										10
	急性弛緩性麻痺	0	0	0										0
	急性脳炎	4	1	2										7
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	0										2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	7	2	4										13
	後天性免疫不全症候群	0	0	0										0
	ジアルジア症	0	1	2										3
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0										0
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	1										1
	侵襲性肺炎球菌感染症	4	0	4										8
	水痘(入院例)	0	2	1										3
	破傷風	0	0	0										0
	梅毒	20	19	29										68
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	2	2										4
	百日咳	2	0	2										4
	風しん	0	0	0										0
	播種性クリプトコックス症	1	1	0										2
	麻しん	0	0	0										0
小 計	43	31	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	
合 計		69	76	85	0	0	0	0	0	0	0	0	0	230

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類 :	エボラ出血熱, クリミア・コンゴ出血熱, 痘そう, 南米出血熱, ペスト, マールブルグ病, ラッサ熱
二類 :	急性灰白髄炎(ポリオ), 結核, ジフテリア, 重症急性呼吸器症候群, 中東呼吸器症候群, 鳥インフルエンザ(H5N1), 鳥インフルエンザ(H7N9)
三類 :	コレラ, 細菌性赤痢, 腸管出血性大腸菌感染症, 腸チフス, パラチフス
四類 :	E型肝炎, ウエストナイル熱, A型肝炎, エキノコックス症, 黄熱, オウム病, オムスク出血熱, 回帰熱, キヤサヌル森林病, Q熱, 狂犬病, コクシジオイデス症, エムポックス(サル痘), ジカウイルス感染症, 重症熱性血小板減少症候群, 腎症候性出血熱, 西部ウマ脳炎, ダニ媒介脳炎, 炭疽, チクングニア熱, つつが虫病, デング熱, 東部ウマ脳炎, 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く), ニパウイルス感染症, 日本紅斑熱, 日本脳炎, ハンタウイルス肺症候群, Bウイルス病, 鼻疽, ブルセラ症, ベネズエラウマ脳炎, ヘンドラウイルス感染症, 発しんチフス, ボツリヌス症, マラリア, 野兔病, ライム病, リッサウイルス感染症, リフトバレー熱, 類鼻疽, レジオネラ症, レプトスピラ症, ロッキー山紅斑熱
五類全数:	アメーバ赤痢, ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く), カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症, 急性脳炎, クリプトスポリジウム症, クロイツフェルト・ヤコブ病, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症, 後天性免疫不全症候群, ジアルジア症, 侵襲性インフルエンザ菌感染症, 侵襲性髄膜炎菌感染症, 侵襲性肺炎球菌感染症, 水痘(入院例に限る), 先天性風しん症候群, 梅毒, 播種性クリプトコックス症, 破傷風, バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症, バンコマイシン耐性腸球菌感染症, 風しん, 麻しん, 薬剤耐性アシネトバクター感染症, 百日咳, 急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和6年3月1日～4月17日

資料作成：令和6年4月17日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	判定保留	検査中
110	136	89	37	0	10

2 四類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
デング熱	デングウイルス1型 ※	1	2	血液, 尿	R6. 3月	20代	北部

※インドネシア渡航歴のある患者から検出されました。

3 五類感染症からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
麻疹(小児)疑い	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	1	1	咽頭	R6. 3月	13	西部東
インフルエンザ脳症疑い	ヒトコロナウイルスHKU1+ライノウイルス +アデノウイルスNT	1	2	鼻腔, 咽頭	R6. 3月	2	呉市
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 +急性脳炎	A群溶血性レンサ球菌	1	1	咽頭	R6. 3月	6	東部
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	18	18	鼻咽頭, 咽頭	R6. 3月～4月	3～51	西部東, 東部
インフルエンザ	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	7	7	鼻咽頭, 咽頭	R6. 3月～4月	1～48	西部東, 東部, 東部(福山)
	AH3型インフルエンザウイルス	2	2	鼻咽頭	R6. 3月	9, 17	西部東
	B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)	27	27	鼻咽頭, 咽頭	R6. 3月～4月	4～39	西部東, 東部, 東部(福山), 北部, 福山市
	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2) +B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)	2	2	咽頭	R6. 3月	不明, 8	東部
RSウイルス感染症	RSウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 4月	1	西部東
	RSウイルス+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 4月	0	西部東
	RSウイルス+アデノウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 4月	1	西部東
感染性胃腸炎	ノロウイルスGII. 3	1	1	便	R6. 4月	0	西部東
	ノロウイルスGII. 7	1	1	便	R6. 4月	1	西部東
咽頭結膜熱	ヒトコロナウイルス229E+アデノウイルス3型	1	1	鼻咽頭	R6. 4月	6	西部東
突発性発疹	ヒトヘルペスウイルス6型	1	1	鼻咽頭	R6. 3月	6	北部

4 その他の疾患からの検出状況

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
上気道炎	ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 3月	不明	北部
	ライノウイルス +B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)	2	2	鼻咽頭	R6. 3月	5, 10	西部東
	パラインフルエンザウイルス1型	2	2	鼻咽頭	R6. 3月	3, 4	西部東, 北部
	パラインフルエンザウイルス3型 +ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 4月	1	西部東
	ヒトコロナウイルスNL63+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 3月	1	北部
	ヒトコロナウイルスNL63+ライノウイルス +パラインフルエンザウイルス2型	1	1	鼻咽頭	R6. 3月	4	北部
下気道炎	パラインフルエンザウイルス1型 +ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R6. 3月	1	西部東
	パラインフルエンザウイルス3型	1	1	鼻咽頭	R6. 3月	1	西部東
	RSウイルス+ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R6. 4月	1	西部東
	アデノウイルス3型 +パラインフルエンザウイルス1型	1	2	鼻腔, 咽頭	R6. 3月	5	呉市
発疹	ライノウイルス	1	2	咽頭, 便	R6. 3月	1	福山市
その他(頸部リンパ節腫脹)	ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R6. 3月	2	北部
その他(急性肝炎)	ライノウイルス(咽頭のみ)+アデノウイルス3型	1	2	咽頭, 便	R6. 3月	1	福山市

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報 (ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-virus-kensyutsu.html>

5 保健所別検査依頼受付状況 (検体採取期間：令和6年3月1日～4月17日)

保健所地区	検体数	疾患名 (検体数)
西部	7	ダニ類媒介感染症疑い(2), デング熱疑い(2), 風しん(小児)疑い(3)
西部(広島)	1	ダニ類媒介感染症疑い(1)
西部(呉)	0	
西部東	32	麻しん(小児)疑い(3), 新型コロナウイルス感染症(2), インフルエンザ(11), 感染性胃腸炎(2), 咽頭結膜熱(1), RSウイルス感染症(3), 上気道炎(5), 下気道炎(5)
東部	50	ダニ類媒介感染症疑い(6), 麻しん(成人)疑い(3), 急性脳炎(2), 新型コロナウイルス感染症(17), インフルエンザ(18), 手足口病(1), ヘルパンギーナ(3)
東部(福山)	7	新型コロナウイルス感染症+インフルエンザ(1), インフルエンザ(6)
北部	15	デング熱(2), インフルエンザ(4), 突発性発疹(1), 上気道炎(4), 発疹(3), その他(1)
福山市	10	ダニ類媒介感染症疑い(1), インフルエンザ(4), 発疹(2), その他(3)
呉市	14	ダニ類媒介感染症疑い(3), インフルエンザ脳症疑い(5), 下気道炎(6)

病原体（細菌）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

資料作成：令和6年4月11日

対象期間：令和5年12月1日～令和6年3月31日に依頼されたもの

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 保健所別検査依頼受付状況

保健所地区	菌株数	疾患名（菌株数）
西部	5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症（1）、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（4）
西部（広島）	0	
西部（呉）	0	
西部東	4	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（3）、劇症型溶血性レンサ球菌感染症（1）
東部	1	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（1）
東部（福山）	0	
北部	0	
福山市	3	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症（3）
呉市	1	バンコマイシン耐性腸球菌感染症（1）
合計	14	

2 五類感染症に関わる菌株の性状

疾患名	診断年月日	患者の年齢	発生地区	菌種	性状
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	R5. 8. 17	84	福山市	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：Class A、β-ラクタマーゼ遺伝子型：SHV, CTX-M-2 group
	R5. 11. 14	73	福山市	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：Class C、β-ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R5. 12. 27	17	福山市	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：Class C、β-ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 1. 11	86	西部東	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：Class C、β-ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
	R6. 1. 22	93	西部東	<i>Klebsiella pneumoniae</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：Class A、β-ラクタマーゼ遺伝子型：SHV, CTX-M-1 group
	R6. 1. 27	73	西部東	<i>Klebsiella aerogenes</i>	カルバペネマーゼ産生性：陰性、β-ラクタマーゼ産生性：Class C、β-ラクタマーゼ遺伝子型：不検出
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	R5. 12. 2	74	西部	<i>Enterococcus faecium</i>	耐性型：VanA型、耐性遺伝子：VanA
	R6. 3. 4	89	呉市	<i>Enterococcus faecium</i>	耐性型：VanA型、耐性遺伝子：VanA

劇症型溶血性レンサ球菌感染症	R5. 11. 30	57	西部	<i>Streptococcus sp.</i>	Lancefield群別：B群、T血清型：Ⅲ型
	R5. 12. 26	86	西部東	<i>Streptococcus sp.</i>	Lancefield群別：G群、 <i>emm</i> 型：stG6792.3
	R6. 1. 17	49	西部	<i>Streptococcus sp.</i>	Lancefield群別：A群、T血清型別：T12、 <i>emm</i> 型：12.0、発赤毒素遺伝子： <i>speB</i> 、 <i>speF</i>
	R6. 2. 7	85	西部	<i>Streptococcus sp.</i>	Lancefield群別：A群、T血清型別：UT、 <i>emm</i> 型：12.0、発赤毒素遺伝子： <i>speB</i> 、 <i>speF</i>
	R6. 3. 22	24	西部	<i>Streptococcus sp.</i>	Lancefield群別：A群、T血清型別：T1、 <i>emm</i> 型：1.0、発赤毒素遺伝子： <i>speA</i> 、 <i>speB</i> 、 <i>speC</i> 、 <i>speF</i>
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	R6. 3. 4	6	東部	<i>Streptococcus sp.</i>	Lancefield群別：A群、T血清型別：UT、 <i>emm</i> 型：28.0、発赤毒素遺伝子： <i>speB</i> 、 <i>speC</i> 、 <i>speF</i>

3 コメント

劇症型溶血性レンサ球菌ではM1UK株は検出されず、特定の型が増えている状況も確認できませんでした。